

Oracle Preinstall RPM (インストール事前作業) のダウンロードとインストール

インストールへの注意点

Oracle Preinstallation RPM はインストールメディアにも含まれていますが、たびたびアップデートされる

このため、インストールに使用する場合は Oracle Public Yum リポジトリ上の最新バージョンを使用する必要がある

(資料 4 より)

インストール手順

【インターネット接続環境】

手順 1.

```
# LANG=C yum install oracle-rdbms-server-12cR2-preinstall
```

インターネットに接続可能なサーバーの場合、上のコマンドを実行するだけで、自動的に必要な RPM のインストールや、ユーザーの作成などが行われる

(資料 4 より)

【インターネット非接続環境】

手順 1.

- Oracle Preinstall RPM ファイル用のリポジトリ・ファイルのダウンロード
インターネットに接続可能なサーバーで、RPM をダウンロードする
(資料 2 より)

対象ファイル : <http://public-yum.oracle.com/public-yum-ol7.repo>

- Oracle Preinstall RPM ファイルのダウンロード
インターネットに接続可能なサーバーで、RPM をダウンロードする
(資料 2 より)

対象ファイル : http://public-yum.oracle.com/repo/OracleLinux/OL7/latest/x86_64/oracle-rdbms-server-12cR2-preinstall

※ ダウンロード先 URL アドレスやファイル名は、Oracle Linux のバージョンや CPU の種類、インストールしようとしている Oracle のバージョンによって異なるので、その都度変更して対応のこと

ダウンロード元サイトとファイル名は、以下のとおりとなる

リポジトリ・ファイルについて

(一覧や検索ページ無し)

URL サイト : <http://public-yum.oracle.com/>

ファイル名 : [public-yum-ol*.repo](#)

ol*は、Oracle Linux のバージョン番号

リポジトリ・ファイルのダウンロードの仕方

手順 1. HTML ファイルを作成し、< a >タグの中に、ダウンロードしたいファイルのURLを記述し、保存する

手順 2. HTML ファイルをブラウザで閲覧する

手順 3. < a >タグがリンクしてある文字列を右クリックする

「名前を付けてリンク先を保存」をクリックする

これで、対象のファイルがダウンロード・フォルダにダウンロードされる

Preinstall 用 rpm ファイルについて

rpm ファイルの一覧表示ページ
||

URL サイト : http://public-yum.oracle.com/repo/OracleLinux/OL*/latest/x86_64/

OL* は、Oracle Linux のバージョン番号
x86_64 は、CPU のタイプ種別

ファイル名 : `oracle-rdbms-server-**cR*-preinstall`

**cR* は、Oracle のバージョンとリリース番号

http://public-yum.oracle.com/repo/OracleLinux/OL7/latest/x86_64/

Oracle Linux 7 (x86_64) Lastest

Lastest package for Oracle Linux 7 (x86_64)

HomeOracle Linux 7 RepositoriesOracle Linux 7 (x86_64)

Name	Last Modified	Size
 repodata/		
 389-ds-base-1.3.7.5-18.el7.x86_64.rpm	11-Apr-2018 00:50	1.7 M
 389-ds-base-1.3.7.5-19.el7_5.x86_64.rpm	13-Apr-2018 19:47	1.7 M
 389-ds-base-1.3.7.5-21.el7_5.x86_64.rpm	14-May-2018 17:16	1.7 M
.		
.		
.		
.		
 oracle-database-preinstall-18c-1.0-1.el7.x86_64.rpm	20-Jun-2018 10:38	17.8 K
 oracle-database-server-12cR2-preinstall-1.0-2.el7.x86_64.rpm	26-Oct-2016 12:31	17.7 K
 oracle-database-server-12cR2-preinstall-1.0-3.el7.x86_64.rpm	10-Jul-2017 10:27	18.7 K
 oracle-database-server-12cR2-preinstall-1.0-4.el7.x86_64.rpm	30-Oct-2018 07:21	18.9 K

手順 2.

- ・ダウンロードしたリポジトリ・ファイルに修正を加える

【修正前】

```
[ol7_latest]
name=Oracle Linux $releasever Latest ($basearch)
baseurl=http://public-
yum.oracle.com/repo/OracleLinux/OL7/latest/$basearch/
gpgkey=http://public-yum.oracle.com/RPM-GPG-KEY-oracle-ol7
gpgcheck=1
enabled=0
```

【修正後】

```
[ol7_latest]
name=Oracle Linux $releasever Latest ($basearch)
baseurl=file:///media/cdrom
        file:///mnt
        file:///var/tmp/media ← マウントポイントと一致させる
gpgkey=file:///etc/pki/rpm-gpg/RPM-GPG-KEY
gpgcheck=1 ← エラーが出るようならば 0 でも OK
enabled=1 ← CD-ROM などの媒体のように、その都度マウントする場
             合には、0
```

~~※インストール・マシンでは Oracle Linux Release 7 Update 6 for x86_64 が稼働しており、Oracle Unbreakable Enterprise Kernel がデフォルトでインストールされるため、2つのリポジトリ ([ol7_latest]と[ol7_UEK_latest]) を有効にする必要がある~~

【修正前】

```
[ol7_UEK_latest]  
name=Latest Unbreakable Enterprise Kernel for Oracle Linux $releasever  
($basearch)  
baseurl=http://public-  
yum.oracle.com/repo/OracleLinux/OL7/UEK/latest/$basearch/  
gpgkey=http://public-yum.oracle.com/RPM-GPG-KEY-oracle-ol7  
gpgcheck=1  
enabled=0
```

【修正後】

```
[ol7_UEK_latest]  
name=Latest Unbreakable Enterprise Kernel for Oracle Linux $releasever  
($basearch)  
baseurl=file:///media/edrom  
= file:///mnt  
= file:///var/tmp/media ← マウントポイントと一致させる  
gpgkey=file:///etc/pki/rpm-gpg/RPM-GPG-KEY  
gpgcheck=1 ← エラーが出るようならば0でもOK  
enabled=1 ← CD-ROM などの媒体のように、その都度マウントする場合  
には、0
```

手順 3.

- ・ダウンロードしたファイルを Oracle インストール・サーバーへコピーする

リポジトリ・ファイル → /etc/yum.repos.d ディレクトリへ

Oracle Preinstall RPM ファイル → /tmp ディレクトリへ

Linux インストール時の iso ファイル → /tmp ディレクトリへ

※ /etc/yum.repos.d ディレクトリの中で、拡張子「.repo」のファイルの情報が Linux のリポジトリとして起動時に取り込まれることになる

手順 4.

- ・Linux インストール時の iso ファイルをマウントする
(iso ファイルを、ループを用いてマウントさせる)

```
# mkdir /var/tmp/media
```

```
# mount -o ro,loop /tmp/OracleLinux-R7-U6-Server-x86_64-  
dvd.iso /var/tmp/media
```

カンマ

- ・正しくマウントされていることを確認する

```
# ls /var/tmp/media/
```

手順 5.

- ・作成したリポジトリ定義ファイルが正しく反映されることを確認する

```
# yum clean all
```

```
# yum --disablerepo="*" --enablerepo=ol7_latest repolist enabled
```

↑
修正した repo ファイルの [] 中の文字列
yum プログラムに、この部分のリポジトリ
だけの一覧表示を指定してる

手順 6.

- ・GPG キーをインストールする

```
# rpm --import /etc/pki/rpm-gpg/RPM-GPG-KEY
```

手順7.

- ・ダウンロードした Oracle Preinstall RPM ファイルをインストールする

```
# LANG=C yum --disablerepo="*" --enablerepo=ol7_latest localinstall
```

修正した repo ファイルの [] 中の文字列

yum プログラムに、インストールにおいてこの部分
のリポジトリ **だけ**を使用することを指定して

```
/tmp/oracle-rdbms-server-12cR2-preinstall-1.0-14.el7.x86_64.rpm
```